

# 歯科点数表の解釈（令和6年6月版） 追補

（令和7年12月・社会保険研究所）

特定保険医療材料及びその材料価格（材料価格基準）の一部を改正する件（令和7年11月28日・厚生労働省告示第306号）及び「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」等の一部改正について（令和7年11月28日・保医発1128第2号）により、材料価格・材料料点数の一部が改正されます（令和7年12月適用）。なお、歯科用貴金属材料の価格改定以外の見直しについては、本追補3頁目以降に掲載しています。

## I 材料価格基準(歯冠修復及び欠損補綴)の材料価格の改正 →540頁

品 名	単位	6年6月 から [6年9 月から]	6年12月 から [7年3 月から]	7年6月 から [7年9 月から]	7年12月 から
001 削除					
002 歯科鑄造用14カラット金合金 インレー用（J I S 適合品）	1 g	9,232円 [10,300円]	10,390円 [11,136円]	11,763円 [12,587円]	13,287円
003 歯科鑄造用14カラット金合金 鉤用（J I S 適合品）	1 g	7,923円 [8,991円]	9,081円 [9,827円]	10,454円 [11,278円]	11,978円
004 歯科用14カラット金合金鉤用線（金58.33%以上）	1 g	8,018円 [9,086円]	9,176円 [9,922円]	10,549円 [11,373円]	12,073円
005 歯科用14カラット合金用金ろう（J I S 適合品）	1 g	8,007円 [9,075円]	9,165円 [9,911円]	10,538円 [11,362円]	12,062円
006 歯科鑄造用金銀パラジウム合金（金12%以上 J I S 適合品）	1 g	2,760円 [3,045円]	3,010円 [3,230円]	3,299円 [3,445円]	3,802円
007 削除					
008 削除					
009 削除					
010 歯科用金銀パラジウム合金ろう（金15%以上 J I S 適合品）	1 g	4,237円 [4,560円]	4,543円 [4,785円]	4,901円 [5,095円]	5,435円
011 歯科鑄造用銀合金 第1種（銀60%以上インジウム5%未満 J I S 適合品）	1 g	159円 [179円]	177円 [185円]	187円 [同上]	207円
012 歯科鑄造用銀合金 第2種（銀60%以上インジウム5%以上 J I S 適合品）	1 g	184円 [204円]	202円 [210円]	212円 [同上]	232円
013 歯科用銀ろう（J I S 適合品）	1 g	233円 [245円]	244円 [249円]	250円 [同上]	261円
014 削除					
015 削除					

## II 歯冠修復及び欠損補綴に係る材料料点数の改正

材 料 料	6年6月 から [6年9月 から]	6年12月 から [7年3月 から]	7年6月 から [7年9月 から]	7年12月 から	材 料 料	6年6月 から [6年9月 から]	6年12月 から [7年3月 から]	7年6月 から [7年9月 から]	7年12月 から
<b>M002 支台築造(1歯につき) → 396頁</b>					(2) 小臼歯・前歯				
〔1の(1)のみ抜粋〕					イ インレー				
1 間接法					a 単純なもの				
(1) メタルコアを用いた場合					[226点] [246点] [270点] [311点]				
イ 大臼歯	84点 [95点]	94点 [98点]	99点 [同上]	110点	b 複雑なもの				
ロ 小臼歯・前歯	52点 [59点]	58点 [61点]	62点 [同上]	68点	ロ 4分の3冠				
<b>M010 金属歯冠修復(1個につき) → 406頁</b>					ハ 5分の4冠				
1 14カラット金合金					ニ 全部金属冠				
(1) インレー					[696点] [759点] [831点] [958点]				
複雑なもの	1,479点 [1,650点]	1,664点 [1,784点]	1,884点 [2,016点]	2,129点	3 銀合金				
(2) 4分の3冠	1,848点 [2,062点]	2,080点 [2,229点]	2,355点 [2,520点]	2,660点	(1) 大臼歯				
2 金銀パラジウム合金（金12%以上）					イ インレー				
(1) 大臼歯					a 単純なもの				
イ インレー					[23点] [同左下] [同左下] [29点]				
a 単純なもの	332点 [366点]	362点 [388点]	397点 [414点]	457点	b 複雑なもの				
b 複雑なもの	614点 [677点]	669点 [718点]	733点 [766点]	845点	ロ 5分の4冠				
ロ 5分の4冠	772点 [852点]	842点 [903点]	923点 [964点]	1,063点	ハ 全部金属冠				
ハ 全部金属冠	972点 [1,072点]	1,060点 [1,137点]	1,161点 [1,213点]	1,338点	[63点] [69点] [73点] [80点]				

※次頁に続く

材 料 料	6年6月 から	6年12月 から	7年6月 から	7年12月 から
	[6年9月 から]	[7年3月 から]	[7年9月 から]	
(2) 小白歯・前歯・乳歯				
イ インレー				
a 単純なもの	14点 [16点]	同左下 [同上]	17点 [同上]	18点
b 複雑なもの	30点 [33点]	32点 [34点]	同左下 [同上]	37点
ロ 4分の3冠（乳歯を除く。）	36点 [40点]	同左下 [41点]	42点 [同上]	46点
ハ 5分の4冠（乳歯を除く。）	36点 [40点]	同左下 [41点]	42点 [同上]	46点
ニ 全部金属冠	46点 [51点]	同左下 [53点]	同左下 [同上]	59点
<b>M010-3 接着冠(1歯につき) →409頁</b>				
1 金銀パラジウム合金（金12%以上）				
(1) 前歯	555点 [612点]	605点 [649点]	663点 [692点]	764点
(2) 小白歯	555点 [612点]	605点 [649点]	663点 [692点]	764点
(3) 大白歯	772点 [852点]	842点 [903点]	923点 [964点]	1,063点
2 銀合金				
(1) 前歯	36点 [40点]	同左下 [41点]	42点 [同上]	46点
(2) 小白歯	36点 [40点]	同左下 [41点]	42点 [同上]	46点
(3) 大白歯	51点 [57点]	同左下 [59点]	同左下 [同上]	65点
<b>M010-4 根面被覆(1歯につき) →409頁</b>				
[1のみ抜粋]				
1 根面板によるもの				
(1) 金銀パラジウム合金（金12%以上）				
イ 大白歯	332点 [366点]	362点 [388点]	397点 [414点]	457点
ロ 小白歯・前歯	226点 [249点]	246点 [264点]	270点 [282点]	311点
(2) 銀合金				
イ 大白歯	23点 [25点]	同左下 [26点]	同左下 [同上]	29点
ロ 小白歯・前歯	14点 [16点]	同左下 [同上]	17点 [同上]	18点
<b>M011 レジン前装金属冠(1歯につき) →410頁</b>				
1 金銀パラジウム合金（金12%以上）を用いた場合				
イ 前歯	866点 [956点]	945点 [1,014点]	1,035点 [1,081点]	1,193点
ロ 小白歯	866点 [956点]	945点 [1,014点]	1,035点 [1,081点]	1,193点
ハ 大白歯	1,022点 [1,113点]	1,112点 [1,177点]	1,188点 [1,261点]	1,299点
2 銀合金を用いた場合				
イ 前歯	102点 [113点]	112点 [117点]	118点 [124点]	129点
ロ 小白歯	102点 [113点]	112点 [117点]	118点 [124点]	129点
ハ 大白歯	122点 [133点]	132点 [137点]	138点 [144点]	149点
<b>M017 ポンティック(1歯につき) →417頁</b>				
1 铸造ポンティック				
(1) 金銀パラジウム合金（金12%以上）				
イ 大白歯	1,118点 [1,234点]	1,220点 [1,309点]	1,337点 [1,396点]	1,541点
ロ 小白歯	842点 [929点]	919点 [986点]	1,007点 [1,051点]	1,160点
(2) 銀合金				
イ 大白歯	51点 [56点]	55点 [57点]	58点 [同上]	63点
2 レジン前装金属ポンティック				
(1) 金銀パラジウム合金（金12%以上）を用いた場合				
イ 前歯	672点 [741点]	733点 [787点]	803点 [839点]	926点
ロ 小白歯	842点 [929点]	919点 [986点]	1,007点 [1,051点]	1,160点
ハ 大白歯	1,118点 [1,234点]	1,220点 [1,309点]	1,337点 [1,396点]	1,541点
(2) 銀合金を用いた場合				
イ 前歯	65点 [71点]	70点 [73点]	74点 [同上]	80点
ロ 小白歯	65点 [71点]	70点 [73点]	74点 [同上]	80点
ハ 大白歯	65点 [71点]	70点 [73点]	74点 [同上]	80点

材 料 料	6年6月 から	6年12月 から	7年6月 から	7年12月 から
	[6年9月 から]	[7年3月 から]	[7年9月 から]	
<b>M018 有床義歯 →422頁</b>				
[3のみ抜粋]				
3 3次元プリント有床義歯				
(1) 3次元プリント有床義歯冠部用材料（1歯につき）				6点
(2) 3次元プリント有床義歯義歯床用材料（1顎につき）				203点
<b>M020 鑄造鉤(1個につき) →425頁</b>				
[1・2のみ抜粋]				
1 14カラット金合金				
(1) 双子鉤				
イ 大・小白歯	1,649点 [1,871点]	1,890点 [2,045点]	2,175点 [2,347点]	2,493点
ロ 犬歯・小白歯	1,341点 [1,522点]	1,537点 [1,664点]	1,770点 [1,909点]	2,028点
(2) 二腕鉤（レストつき）				
イ 大白歯	1,341点 [1,522点]	1,537点 [1,664点]	1,770点 [1,909点]	2,028点
ロ 犬歯・小白歯	1,030点 [1,169点]	1,181点 [1,278点]	1,359点 [1,466点]	1,557点
ハ 前歯（切歯）	793点 [900点]	909点 [984点]	1,046点 [1,129点]	1,199点
2 金銀パラジウム合金（金12%以上）				
(1) 双子鉤				
イ 大・小白歯	894点 [987点]	975点 [1,047点]	1,069点 [1,116点]	1,232点
ロ 犬歯・小白歯	699点 [772点]	763点 [818点]	836点 [873点]	963点
(2) 二腕鉤（レストつき）				
イ 大白歯	614点 [677点]	669点 [718点]	734点 [766点]	846点
ロ 犬歯・小白歯	534点 [589点]	582点 [625点]	638点 [666点]	735点
ハ 前歯（切歯）	495点 [546点]	540点 [579点]	592点 [618点]	682点
<b>M021 線鉤(1個につき) →426頁</b>				
[2のみ抜粋]				
2 14カラット金合金				
(1) 双子鉤				
イ 大・小白歯	780点 [884点]	893点 [965点]	1,026点 [1,107点]	1,175点
(2) 二腕鉤（レストつき）	603点 [683点]	690点 [746点]	793点 [855点]	908点
<b>M021-2 コンビネーション鉤(1個につき) →426頁</b>				
[1のみ抜粋]				
1 鑄造鉤又はレストに金銀パラジウム合金（金12%以上），線鉤に不銹鋼及び特殊鋼を用いた場合				
(1) 前歯	248点 [273点]	270点 [290点]	296点 [309点]	341点
(2) 犬歯・小白歯	267点 [294点]	291点 [312点]	319点 [333点]	368点
(3) 大白歯	307点 [339点]	335点 [359点]	367点 [383点]	423点
<b>M021-3 磁性アタッチメント(1個につき) →426頁</b>				
[2の(1)・(2)のみ抜粋]				
2 キーバー付き根面板 （根面板の保険医療材料料（1歯につき）） キーバー付き根面板を用いた場合は次の材料料とキーバー料との合計により算定する。				
(1) 金銀パラジウム合金（金12%以上）				
イ 大白歯	614点 [677点]	669点 [718点]	733点 [766点]	845点
ロ 小白歯・前歯	449点 [495点]	490点 [526点]	537点 [561点]	619点
(2) 銀合金				
イ 大白歯	40点 [44点]	同左下 [45点]	46点 [同上]	50点
ロ 小白歯・前歯	30点 [33点]	32点 [34点]	同左下 [同上]	37点
<b>M023 バー(1個につき) →427頁</b>				
[1の(1)のみ抜粋]				
1 鑄造バー				
(1) 金銀パラジウム合金（金12%以上）	1,434点 [1,582点]	1,563点 [1,678点]	1,714点 [1,789点]	1,975点

# 歯科点数表の解釈（令和6年6月版） 追補

（令和7年12月・社会保険研究所）

その他、以下の省令、告示、通知、事務連絡により、本書の内容に変更が生じたので、ここに追補します。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律等の一部を改正する法律の施行に伴う関係省令の整備に関する省令（令和7年10月22日 厚生労働省令第103号）【令和7年11月20日施行】</li> <li>・保険医療機関及び保険医療養担当規則第3条第1項第四号等に規定する厚生労働大臣が定める方法の一部を改正する件（令和7年9月18日 厚生労働省告示第245号）【令和7年9月19日適用】</li> <li>・療担規則及び薬担規則並びに療担基準に基づき厚生労働大臣が定める揭示事項等の一部を改正する件（令和7年10月21日 厚生労働省告示第284号）【令和7年10月22日適用】</li> <li>・医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律等の一部を改正する法律の施行に伴う厚生労働省関係告示の整備に関する告示（令和7年10月22日 厚生労働省告示第286号）【令和7年11月20日適用】</li> <li>・療担規則及び薬担規則並びに療担基準に基づき厚生労働大臣が定める揭示事項等の一部を改正する件（令和7年11月11日 厚生労働省告示第299号）【令和7年11月12日適用】</li> <li>・特定保険医療材料及びその材料価格（材料価格基準）の一部を改正する件（令和7年11月28日 厚生労働省告示第306号）【令和7年12月1日適用】</li> <li>・「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」等の一部改正について（令和7年11月28日保医発1128第2号）</li> <li>・疑義解釈資料の送付について（その29）（令和7年9月16日 厚生労働省保険局医療課）</li> <li>・医療機関等の窓口におけるスマートフォンでのマイナ保険証への対応に関する疑義解釈資料の送付について（令和7年9月18日 保険局医療課・医療介護連携政策課事務連絡）</li> </ul>
---

頁	箇所	現 行	改定後
171	右段下から23行目後	<p>※以下の疑義解釈を追加する。</p> <p>問 高血圧症の患者に対する減塩食（塩分の総量が6g未満のものに限る。）は、「B001」の「9」外来栄養食指導料と同様に、「B001」の「10」【B004-1-4】入院栄養食指導料の算定対象となる特別食に含まれるか。</p> <p>答 入院栄養食指導料の特別食は、外来栄養食指導料における留意事項の例によるとされているため、高血圧症の患者に対する減塩食（塩分の総量が6g未満のものに限る。）は含まれる。なお、入院時食事療養（Ⅰ）又は入院時生活療養（Ⅰ）の特別食加算の対象にはならないことに留意すること。（令7. 9. 16「医科」問3）</p>	
422	右段上から17行目後	<p>※以下を追加し、発簡番号の後ろに（令7. 11. 28 保医発1128第2）を加える。</p> <p>3 3次元プリント有床義歯</p> <p>(1) 3次元プリント有床義歯歯冠部用材料（1歯につき）</p> <p>(2) 3次元プリント有床義歯義歯床用材料（1顎につき）</p>	6点 203点
424	右段上から8行目後	<p>※1行開けて以下を追加し、追加したそれぞれの留の後ろに発簡番号（令7. 11. 28 保医発1128第2）を加える。</p> <p>（3次元プリント有床義歯）</p> <p>(14) 歯科技工室設置型コンピュータ支援設計、製造ユニット及び歯科技工用重合装置（以下「液槽光重合方式3次元プリント有床義歯製作装置」という。）を用いて、作業模型で間接法により造形製作された歯冠部用材料及び義歯床用材料からなる有床義歯（以下、「3次元プリント有床義歯」という。）は、「2 総義歯」の点数を準用して算定する。留</p> <p>(15) 3次元プリント有床義歯は、再製作を行った場合を除き、上下顎で同日に装着した場合に限り算定できる。留</p> <p>(16) 3次元プリント有床義歯の製作に当たり、必要に応じて行った印象採得、咬合採得、装着及び仮床試適については、各区分により算定する。留</p> <p>(17) 3次元プリント有床義歯を製作した場合は、診療録及び診療報酬明細書に、「3次元プリント有床義歯」と記載すること。なお、記載に当たっては、「3 DFD」と記載しても差し支えない。留</p> <p>(18) 3次元プリント有床義歯は、以下のいずれにも該当する歯科医療機関において実施すること。</p> <p>イ 歯科補綴治療に係る専門の知識及び3年以上の経験を有する歯科医師が1名以上配置されていること。</p> <p>ロ 保険医療機関内に液槽光重合方式3次元プリント有床義歯製作装置が設置されている場合は、歯科技工士を配置していること、又は保険医療機関内に液槽光重合方式3次元プリント有床義歯製作装置が設置されていない場合は、当該装置を設置している歯科技工所との連携が確保されていること。なお、使用した当該装置名及び歯科技工所名（保険医療機関内で製作する場合は除く。）を診療録に記載すること。留</p> <p>(19) 3次元プリント有床義歯を製作した場合は、製品に付属している使用した材料の名称及びロット番号等を記載した文書（シール等）を保存して管理すること（診療録に貼付する等）。留</p>	
431	右段上から6行目後	<p>※1行開けて以下を追加し、追加したそれぞれの留の後ろに発簡番号（令7. 11. 28 保医発1128第2）を加える。</p> <p>（3次元プリント有床義歯を修理する場合）</p> <p>(9) M018により製作した3次元プリント有床義歯を修理する場合は、本区分により算定する。なお、保険医療材料（修理を行った歯数分の3次元プリント有床義歯歯冠部用材料は除く。）は、所定点数に含まれる。留</p> <p>(10) 3次元プリント有床義歯において、3次元プリント有床義歯歯冠部用材料を使用して修理を行った場合は、製品に付属している使用した材料の名称及びロット番号等を記載した文書（シール等）を保存して管理すること（診療録に貼付する等）。留</p>	
432	右段下から14行目	<p>※以下を追加し、追加した留の後ろに発簡番号（令7. 11. 28 保医発1128第2）を加える。</p>	

頁	箇所	現 行	改定後								
	後	(11) M018 により製作した 3 次元プリント有床義歯に、硬質材料を用いて床裏装を行った場合は、「1 のロ 総義歯」により算定する。 <span style="float: right;">留</span>									
493	左段下から 19 行目後 (令和 7 年 3 月追補による修正後の記述後)	<p>※以下の疑義解釈を追加する。</p> <p>(問) マイナ保険証として利用可能なスマートフォンでオンライン資格確認を行った場合、医療 D X 推進体制整備加算の要件となるレセプト件数ベースマイナ保険証利用率に反映されるのか。 (令 7. 9. 18 医療課・医療介護連携政策課事務連絡)</p> <p>(答) 患者のスマートフォンをカードリーダーで読み取ってオンライン資格確認を行った場合、マイナ保険証の利用者数として計上されるため、社会保険診療報酬支払基金から通知するレセプト件数ベースマイナ保険証利用率に反映される。</p> <p>スマートフォンによるオンライン資格確認の運用は、令和 7 年 9 月 19 日から開始されることから、レセプト件数ベースマイナ保険証利用率への反映は、令和 7 年 11 月に社会保険診療報酬支払基金から通知される令和 7 年 12 月適用分からとなる。</p> <p>なお、何らかの事情でスマートフォンによるオンライン資格確認が行えず、当該スマートフォンからその場でマイナポータルにログインし、表示された資格情報の画面によって資格確認を行う場合は、マイナナンバーカードによるオンライン資格確認が行えず、マイナナンバーカードと、マイナポータルの資格情報の画面や資格情報のお知らせで資格確認を行う場合と同様、レセプト件数ベースマイナ保険証利用率には反映されない。</p>									
499	右段下から 9 行目後	<p>※以下の疑義解釈を追加する。</p> <p>○高エネルギー放射線治療、強度変調放射線治療（IMRT）</p> <p>(問) 「特掲診療料の施設基準等及びその届出に関する手続きの取扱いについて（保医発 0305 第 6 号令和 6 年 3 月 5 日）」の第 2 の 4 (3)イ【<b>編注</b>；高エネルギー放射線治療、強度変調放射線治療（IMRT）に係る年間実施件数】について、「新規届出の場合」とは、当該保険医療機関の新規開設又は当該手術等を実施する診療科を新規開設する場合のほか、当該保険医療機関が当該届出を初めて行う場合も該当するか。 (令 7. 9. 16「医科」問 1)</p> <p>(答) そのとおり。</p>									
540	上から 3 行目	(平 20. 3. 5 厚生労働省告示第 61 号) (最終改正；令 7. 8. 29 厚生労働省告示第 233 号)	(平 20. 3. 5 厚生労働省告示第 61 号) (最終改正；令 7. 11. 28 厚生労働省告示第 306 号)								
541	右段下から 1 行目後	<p>※以下を追加する。</p> <table border="1"> <tr> <td>070</td><td>3 次元プリント有床義歯歯冠部用材料</td><td>1 歯</td><td>59</td></tr> <tr> <td>071</td><td>3 次元プリント有床義歯義歯床用材料</td><td>1 顎</td><td>2,026</td></tr> </table>		070	3 次元プリント有床義歯歯冠部用材料	1 歯	59	071	3 次元プリント有床義歯義歯床用材料	1 顎	2,026
070	3 次元プリント有床義歯歯冠部用材料	1 歯	59								
071	3 次元プリント有床義歯義歯床用材料	1 顎	2,026								
545	右段上から 21 行目	(令 6. 3. 5 保医発 0305 第 8 号)	(令 6. 3. 5 保医発 0305 第 8 号) (最終改正；令 7. 11. 28 保医発第 2 号)								
548	右段上から 6 行目後	<p>※以下を追加する。</p> <p>070 3 次元プリント有床義歯歯冠部用材料 定義 次のいずれにも該当すること。 (1) 薬事承認又は認証上、類別が「歯科材料(2)歯冠材料」であって、一般的名称が「歯冠用硬質レジン」であること。 (2) JIS T6517「歯冠用硬質レジン」第 3 種（光重合型）に適合するものであること。 (3) 「液槽光重合方式 3 次元プリント有床義歯製作装置」を用いて総義歯の歯冠部を製作するために使用するものであること。</p> <p>071 3 次元プリント有床義歯義歯床用材料 定義 次のいずれにも該当すること。 (1) 薬事承認又は認証上、類別が「歯科材料(3)義歯床材料」であって、一般的名称が「義歯床用アクリル系レジン」であること。 (2) JIS T6501「義歯床用レジン」タイプ 4（光重合レジン）に適合するものであること。 (3) 「液槽光重合方式 3 次元プリント有床義歯製作装置」を用いて総義歯の義歯床を製作するために使用するものであること。</p>									
550	右段下から 14 行目	(令 6. 3. 5 保医発 0305 第 12 号)	(令 6. 3. 5 保医発 0305 第 12 号) (最終改正；令 7. 11. 28 保医発第 2 号)								
560	左段上から 23 行目後	<p>※以下を追加する。</p> <p>070 3 次元プリント有床義歯歯冠部用材料 定義 次のいずれにも該当すること。 (1) 薬事承認又は認証上、類別が「歯科材料(2)歯冠材料」であって、一般的名称が「歯冠用硬質レジン」であること。 (2) JIS T6517「歯冠用硬質レジン」第 3 種（光重合型）に適合するものであること。 (3) 「液槽光重合方式 3 次元プリント有床義歯製作装置」を用いて総義歯の歯冠部を製作するために使用するものであること。</p>									

頁	箇所	現 行	改定後
		071 3次元プリント有床義歯義歯床用材料 定義 次のいずれにも該当すること。 (1) 薬事承認又は認証上、類別が「歯科材料(3)義歯床材料」であって、一般的名称が「義歯床用アクリル系レジン」であること。 (2) JIS T6501 「義歯床用レジン」タイプ4（光重合レジン）に適合するものであること。 (3) 「液槽光重合方式3次元プリント有床義歯製作装置」を用いて総義歯の義歯床を製作するために使用するものであること。	
579	上から 3行目	(昭32.4.30 厚生省令第15号) (最終改正; 令7.3.31 厚生労働省令第32号) <b>※令和7年5月追補による修正後の記述</b>	(昭32.4.30 厚生省令第15号) (最終改正; 令7.10.22 厚生労働省令第103号)
582	左段下から 1行目	る法律(昭和35年法律第145号)第2条第17項に規定する	る法律(昭和35年法律第145号)第2条第18項に規定する
590	上から1 行目前(令和6年12 月追補による修正 後の記述の下から 12行目)	<b>※令和6年12月追補により追加した「保険医療機関及び保険医療養担当規則第3条第1項第四号等に規定する厚生労働大臣が定める方法」(令6.11.29 厚生労働省告示第351号)の「二」から「三」を以下のように修正し、発簡番号の後ろに(最終改正; 令7.9.18 厚生労働省告示第245号)を加える。</b> <div> <div>           二 患者の提示する個人番号カード及び番号利用法附則第6条第3項に規定する情報提供等記録開示システムを通じて取得した当該患者の被保険者又は被扶養者の資格に係る情報が記録されたもの         </div> <div>           三 保険医療機関等(健康保険法第63条第3項第一号に規定する保険医療機関又は保険薬局をいう。)又は指定訪問看護事業者(同法第88条第1項に規定する指定訪問看護事業者をいう。)が、<u>利用者証明用電子証明書</u>(電子署名等に係る地方公共団体情報システム機構の認証業務に関する法律(平成14年法律第153号)第22条第1項に規定する利用者証明用電子証明書をいう。以下同じ。)の発行を受けた患者であって、当該利用者証明用電子証明書の有効期間が満了した日から当該日の属する月の末日から起算して3月を経過した日までの間にあるものについて、当該<u>利用者証明用電子証明書</u>に記録された利用者証明利用者検証符号(同法第2条第5項に規定する利用者証明利用者検証符号をいう。)に対応する利用者証明利用者符号(同項に規定する利用者証明利用者符号をいう。)を用いた本人確認を行った上で、保険者に対し、電子情報処理組織を使用する方法その他の情報通信の技術を利用する方法により、当該患者の被保険者又は被扶養者の資格に係る情報(保険給付に係る費用の請求に必要な情報を含む。)の照会を行い、保険者から回答を受けることによりその資格を確認する方法         </div> </div>	
	上から 4行目	(昭58.1.20 厚生省告示第14号) (最終改正; 令7.3.31 厚生労働省告示第104号) <b>※7年5月追補による修正後の記述</b>	(昭58.1.20 厚生省告示第14号) (最終改正; 令7.10.22 厚生労働省告示第286号)
593	右段上から 26行目	<b>(使用医薬品及び歯科材料)</b> <b>第19条</b> 保険医は、別に厚生労働大臣の定める医薬品以外の薬物を患者に施用し、又は処方してはならない。ただし、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律(昭和35年法律第145号)第2条第17項に規定する治験(以下「治験」とい	<b>(使用医薬品及び歯科材料)</b> <b>第19条</b> 保険医は、別に厚生労働大臣の定める医薬品以外の薬物を患者に施用し、又は処方してはならない。ただし、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律(昭和35年法律第145号)第2条第18項に規定する治験(以下「治験」とい

